




3 セグメント別詳細情報 - 車両


2025年度実績（前期比）


受注高  ニューヨーク市交通局向け新型地下鉄電車を受注したことなどにより増加
+675 億円


売上収益  国内向けや米国向けが増加したことにより増収
+138 億円

事業利益  増収はあったものの、一過性損失（売上収益の減額）の発生※などにより横ばい
+2 億円

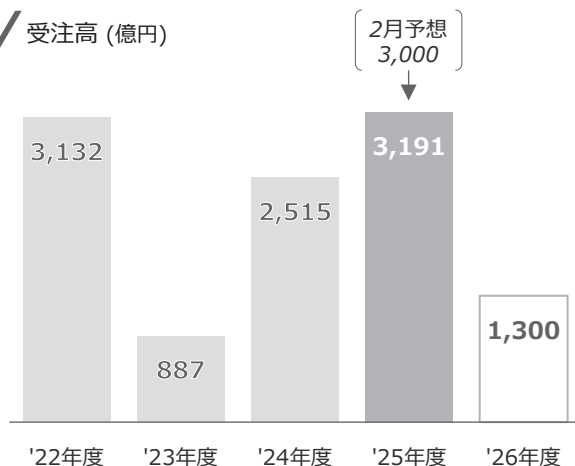
2026年度予想（前期比）

受注高  国内向けの増加はあるものの、米国向けの減少（前期に受注のあった「R268」契約車両378両）により減少
▲1,891 億円

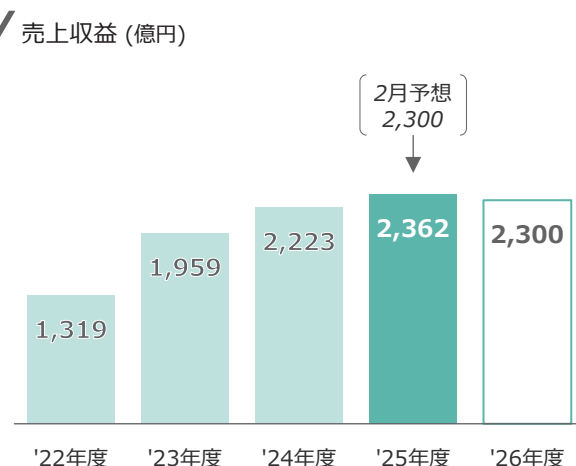
売上収益  米国向けの増加はあるものの、国内向けの減少により減収
▲62 億円

事業利益  減収や中東情勢の影響はあるものの、前期に発生した一過性損失※の反動などにより増益
+14 億円

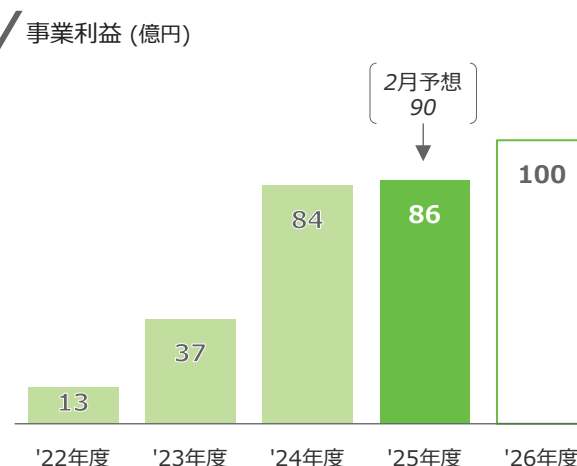
受注高 (億円)



売上収益 (億円)



事業利益 (億円)



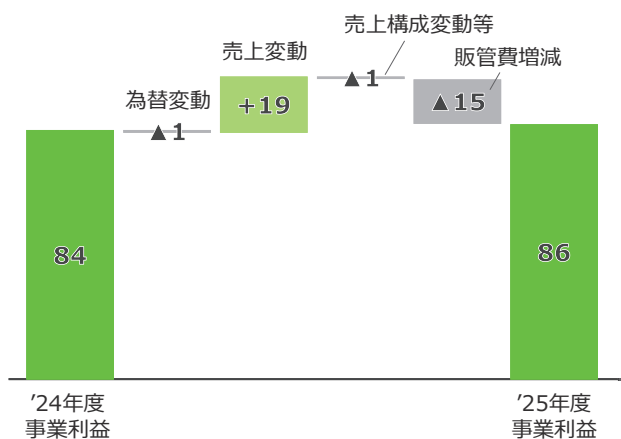
※ ワシントン地下鉄7000系車両におけるWMATAとの合意について (https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_260206-1.pdf)

3 セグメント別詳細情報 - 車両

(単位：億円)

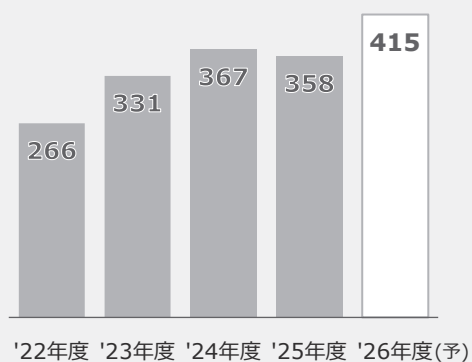
	'24年度	'25年度				'26年度	
	実績	2月予想	実績	前期比	2月予想比	予想	前期比
受注高	2,515	3,000	3,191	+ 675	+ 191	1,300	▲ 1,891
うち 国内・アジア	523	900	913	+ 389	+ 13	1,260	+ 347
北米	1,992	2,100	2,278	+ 286	+ 178	40	▲ 2,238
売上収益	2,223	2,300	2,362	+ 138	+ 62	2,300	▲ 62
うち 国内・アジア	701	780	819	+ 118	+ 39	735	▲ 84
北米	1,521	1,520	1,542	+ 20	+ 22	1,565	+ 23
事業利益	84	90	86	+ 2	▲ 4	100	+ 14
	[利益率]	[3.8%]	[3.7%]	[▲ 0.1pt]	[▲ 0.2pt]	[4.3%]	[+ 0.6pt]

事業損益増減要因 (億円)



補足情報

部品・改造・アフター関連売上(単位：億円)

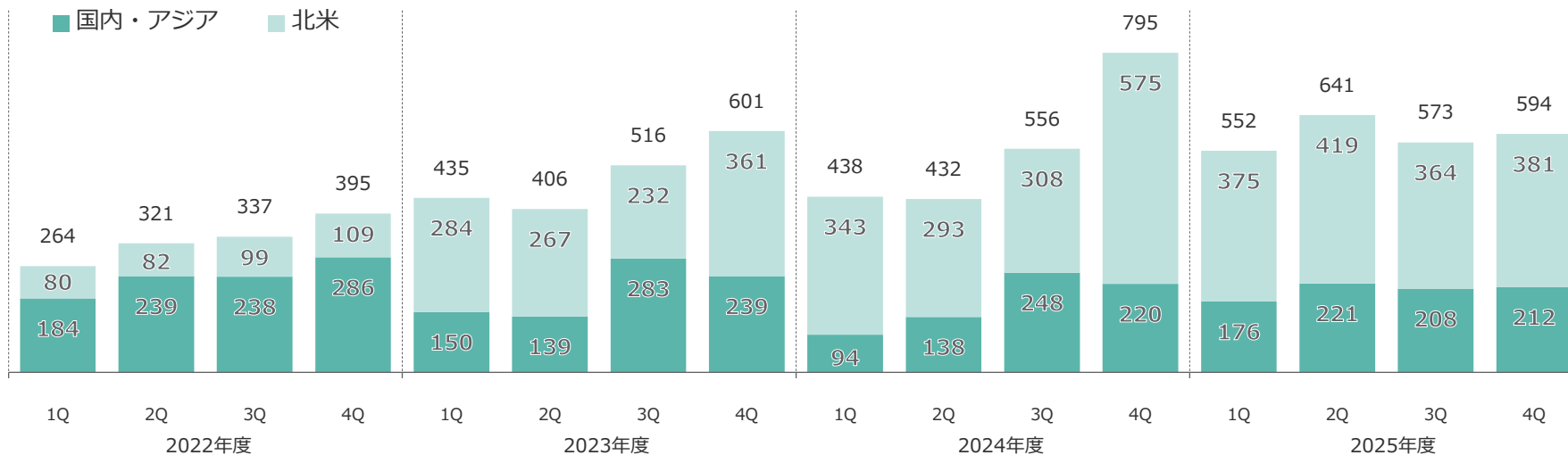


米国ニューヨーク地下鉄向け R211プロジェクトの進捗状況 ('26年3月末)

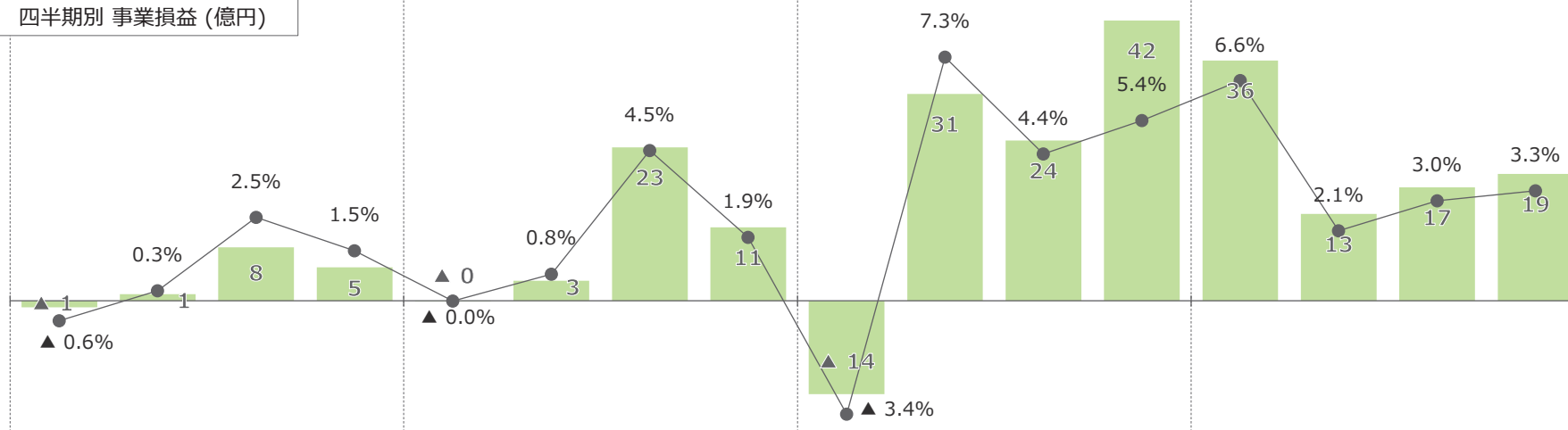
- Base契約車両全535両を完納
- Option1契約車両640両のうち、**320両を引き渡し済み**
- Option2契約車両435両は25年1月に受注済み

3 セグメント別詳細情報 - 車両

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



3 セグメント別詳細情報 - 車両

事業環境・受注動向

- 国内市場
 - 旺盛なインバウンド需要により鉄道車両への投資が継続
- 海外市場
 - 大都市における混雑緩和対策のための都市交通整備などに伴い需要が見込まれる
- 中長期展望
 - 海外市場における交通整備、アジア諸国の経済発展に伴う鉄道インフラニーズなど、今後も世界的に安定した成長が見込まれる

(補足) 中東情勢の影響について

- 🚗 溶剤等の調達難により当社の生産工程に影響が発生。代替材の入手やグローバル拠点間での調達連携強化により影響最小化を図るとともに、顧客との納期調整交渉を実施

重点施策と具体的な取り組み

✓ 海外案件の納入スケジュール遵守

案件	ステータス	マイルストーン
ダッカ 6号線	▶ 完納 (全24編成144両を顧客に引渡し済)	最終車両引渡し 2024年度4Q完了 基地設備引渡し 2026年度
NYCT R268 地下鉄	▶ 米国時間2025年12月に378両の契約を締結 (受注額: 約2,250億円)	最終車両引渡し 2030年度

✓ 顧客に信頼される品質レベルの達成

- 仕損じ、手直し費用の削減
- 国内外の各生産拠点でのKPS (Kawasaki Production System)による生産管理の継続



甘木鉄道(株)向け ARe500形電気式気動車 (Green DEC)

✓ 部品・サービスの拡販、保守分野の事業拡大

- 北米向け軌道遠隔監視装置の拡販
- 国内鉄道事業者への車両状態監視装置の拡販
- 新型電気式気動車「Green DEC」の地域鉄道への拡販を通じ、導入から状態監視・運用支援・部品供給に至る鉄道のライフサイクルにわたる一貫したサポートを実現